

3.防災・減災上の課題の整理



(1)災害リスクのまとめ

前節までにおける分析をまとめると以下のとおりである。

<水害関連>

- ・ 前橋南部地区の居住誘導区域では浸水深 3.0m 以上になる箇所が存在する。
- ・ 居住誘導区域内の北代田町周辺、六供町周辺地区で 40 人/ha 以上の箇所が浸水深 0.5m 以上と重複する。
- ・ 要配慮者施設は浸水深 0.5m 以上の箇所に立地する施設が一定数存在する。

<土砂災害関連>

- ・ 大胡地区や群馬県庁西側では居住誘導区域に近接する箇所において指定（急傾斜地崩壊危険箇所）されている。
- ・ 大規模盛土造成地は居住誘導区域内では局所的に点在する。

<地震災害関連>

- ・ 市域に最も大きな被害をもたらすものは関東平野北西縁断層帯主部による地震であり、居住誘導区域内においては大半が想定震度 6 弱となっている。
- ・ 液状化危険度が居住誘導区域内の若宮町、中央前橋駅周辺、朝日町、駒形町の箇所で高い。

<噴火関連>

- ・ 大規模噴火時において前橋市には噴石等の被害は想定されていない。

(2) 市域全体における防災・減災上の課題

市域全体において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

①洪水浸水深 L1 (計画規模) における課題

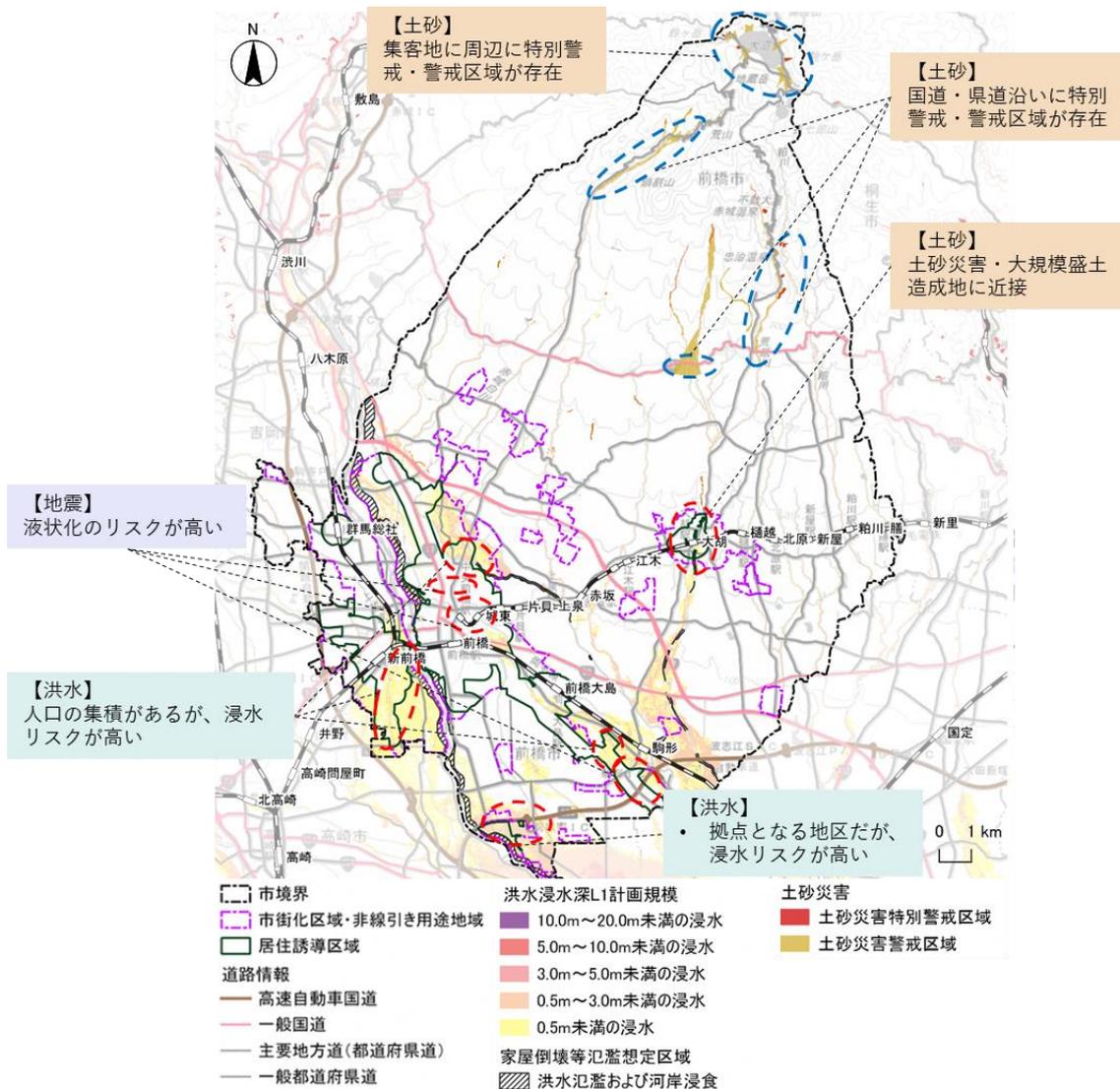


図 3-1 市域全体における防災上の課題 (洪水浸水深 L1)

②洪水浸水深 L2（想定最大）における課題

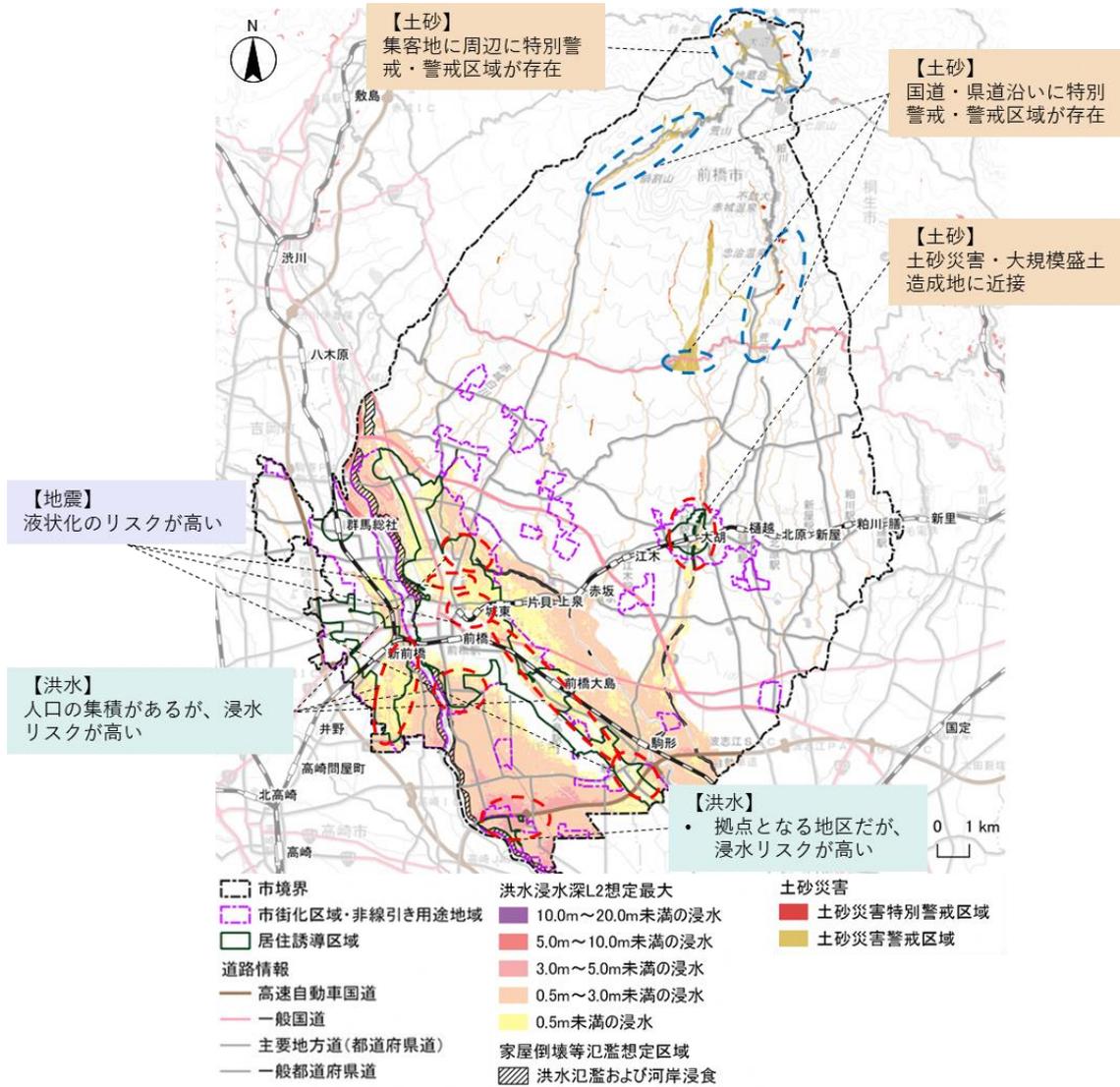


図 3-2 市域全体における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

(3) 各地区における防災・減災上の課題

① 前橋南部地区における防災・減災上の課題図

前橋南部地区において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

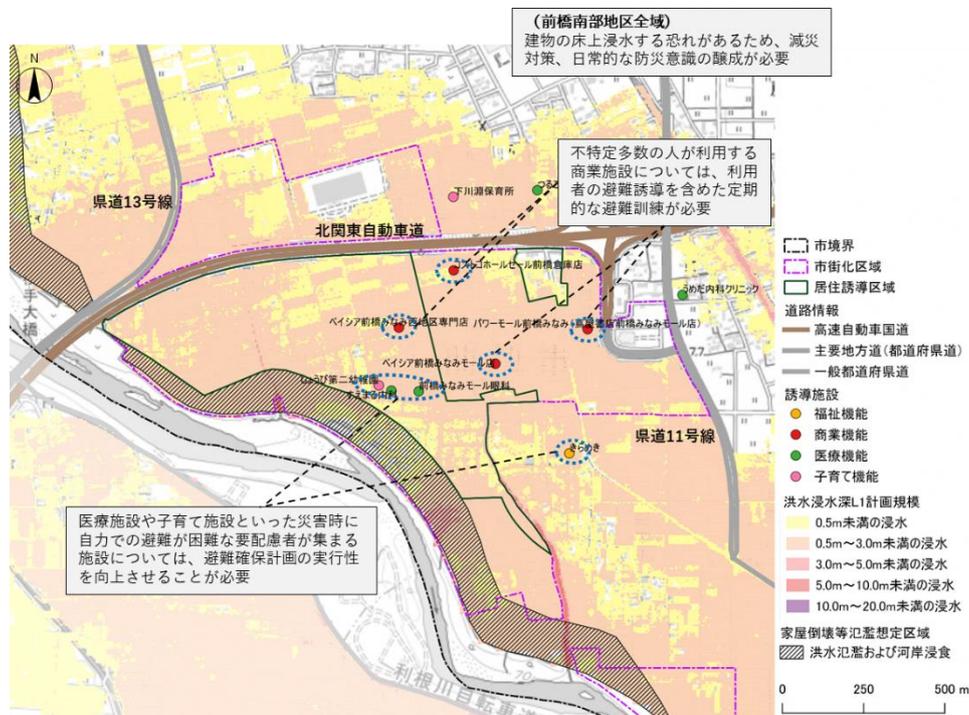


図 3-3 前橋南部地区における防災上の課題（洪水浸水深 L1）

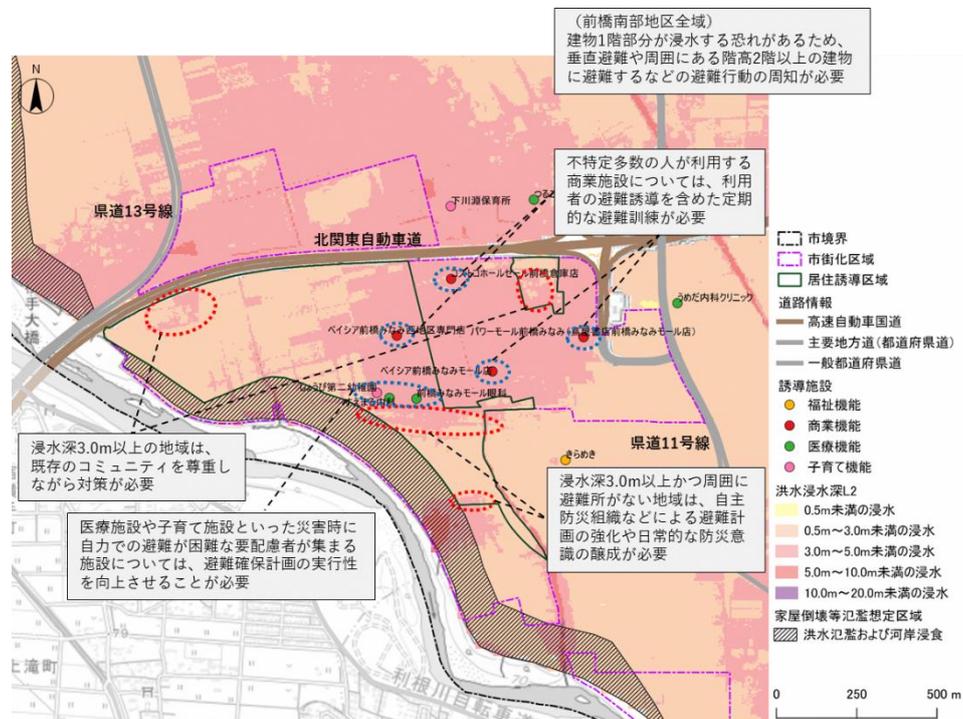


図 3-4 前橋南部地区における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

②六供町周辺における防災・減災上の課題図

六供町周辺において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

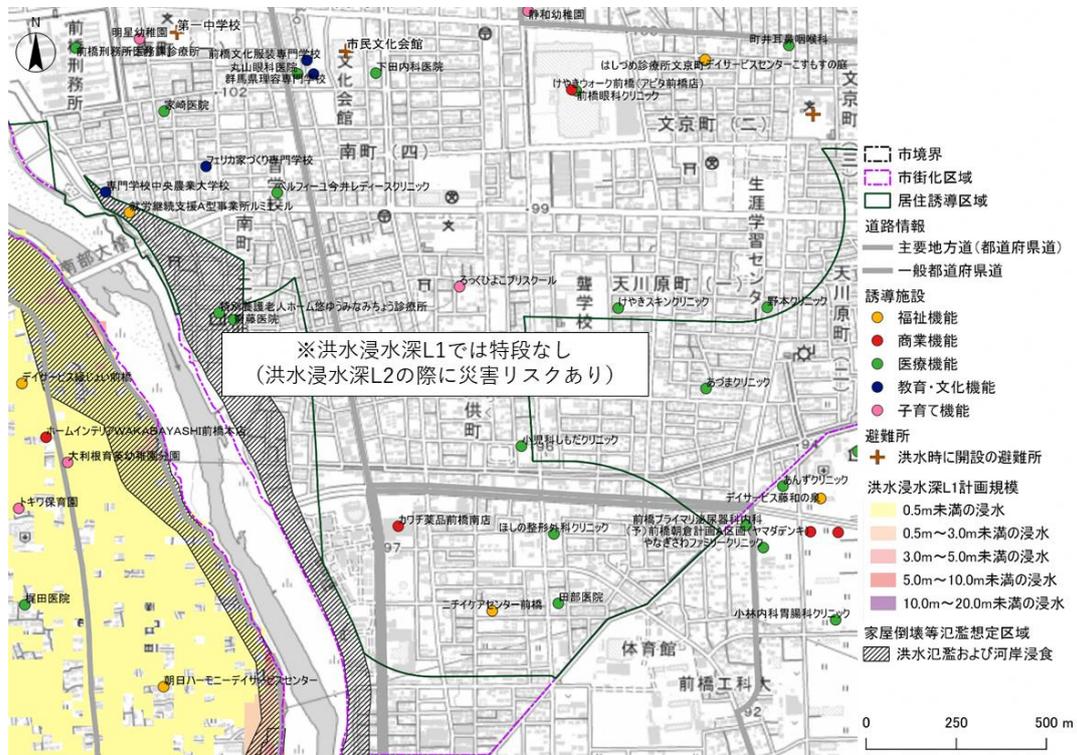


図 3-5 六供町における防災上の課題（洪水浸水深 L1）

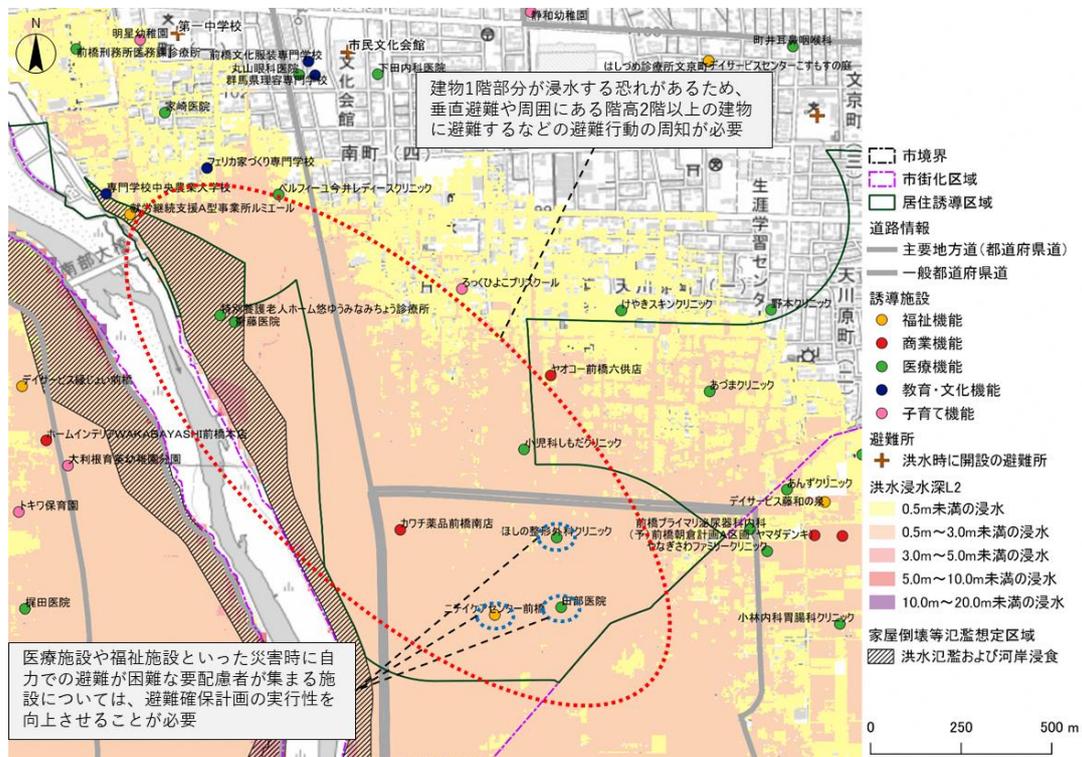


図 3-6 六供町における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

③北代田町周辺における防災・減災上の課題図

北代田町周辺において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

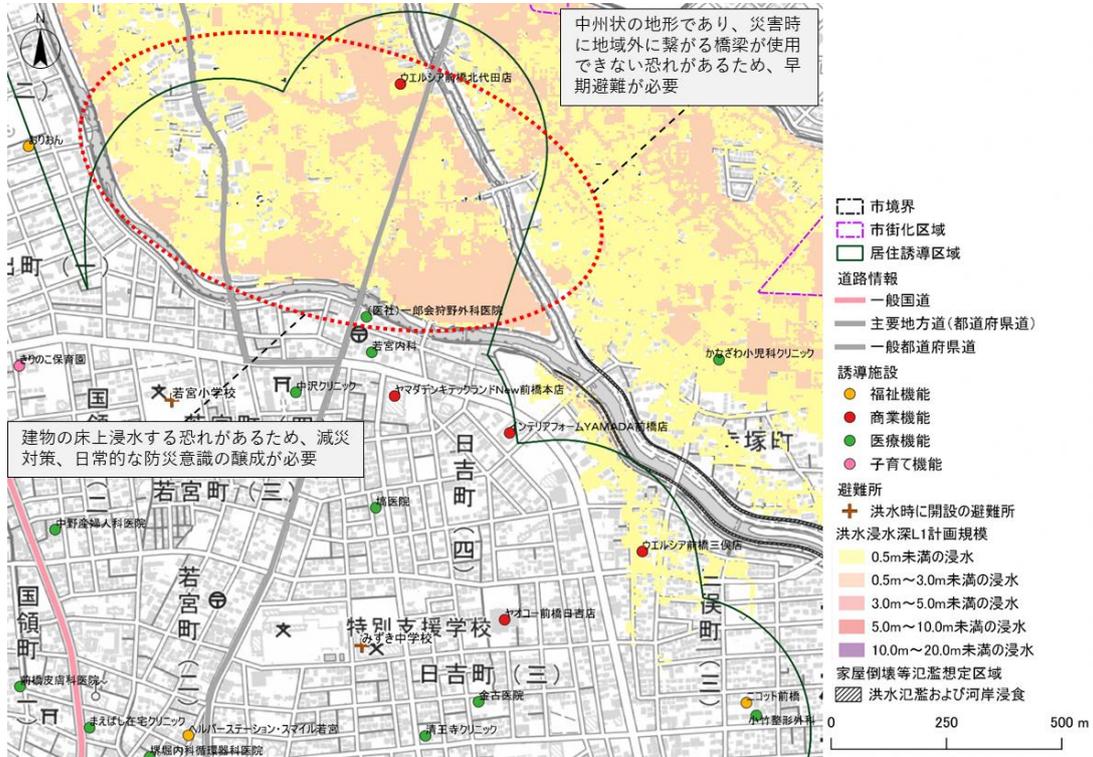


図 3-7 北代田町周辺における防災上の課題（洪水浸水深 L1）

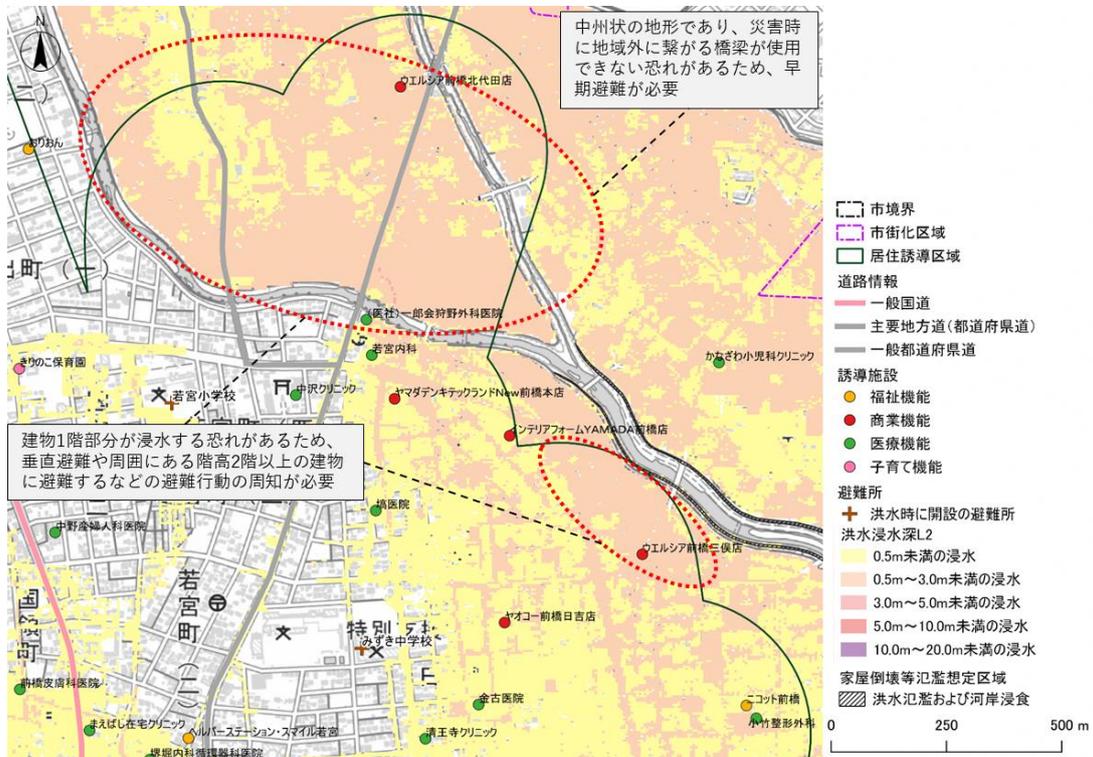


図 3-8 北代田町周辺における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

④ 広瀬川沿線地区における防災・減災上の課題図

広瀬川沿線地区において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

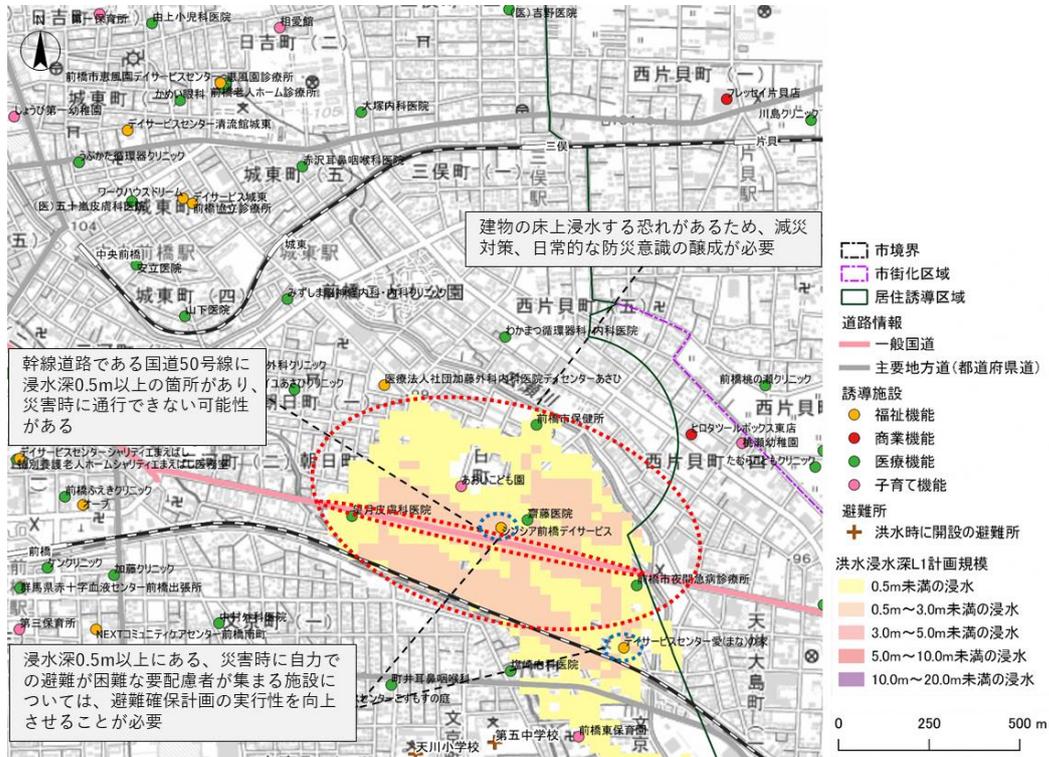


図 3-9 広瀬川沿線地区（その1）における防災上の課題（洪水浸水深L1）

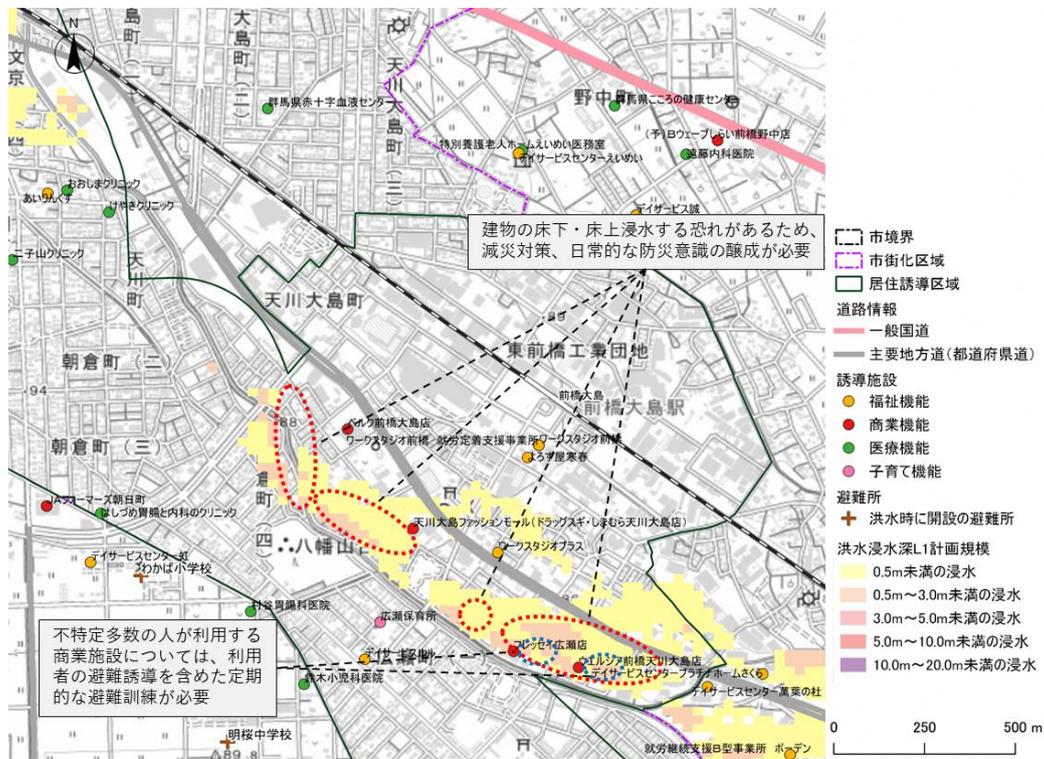


図 3-10 広瀬川沿線地区（その2）における防災上の課題（洪水浸水深L1）

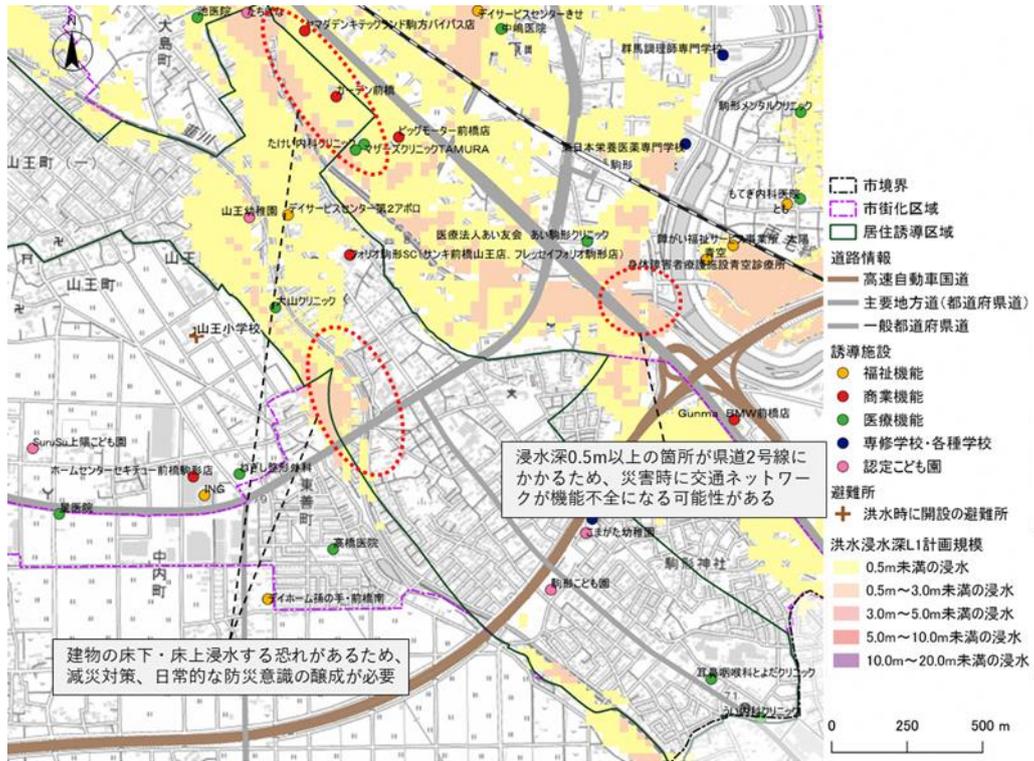


図 3-11 広瀬川沿線地区（その3）における防災上の課題（洪水浸水深L1）

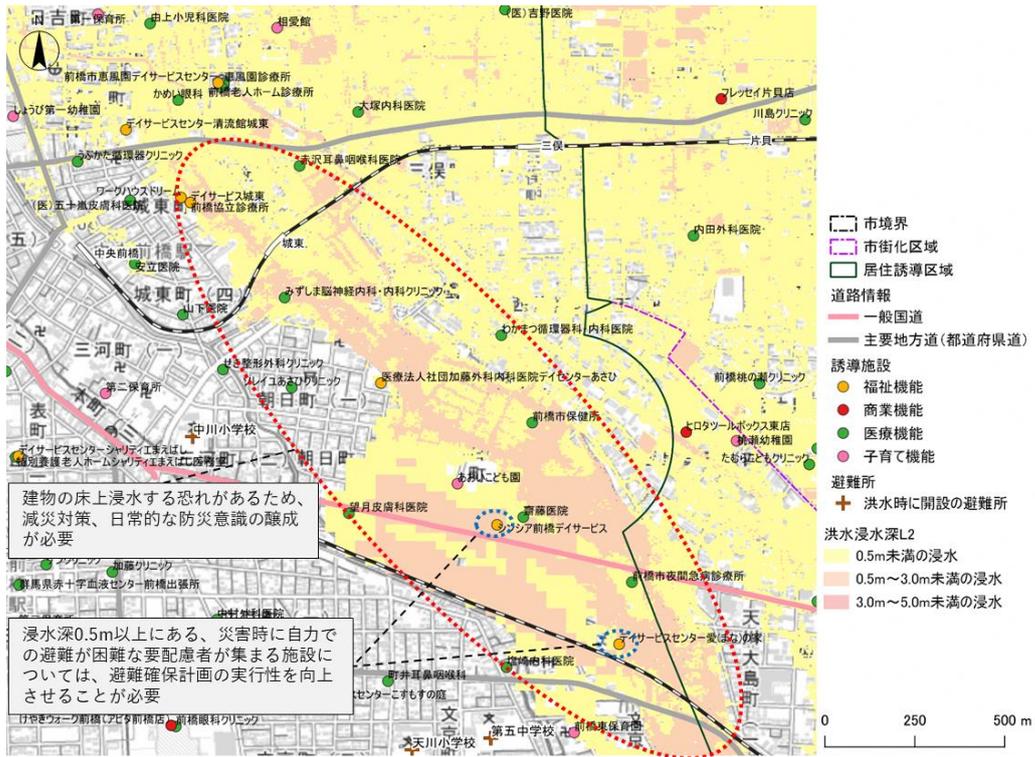


図 3-12 広瀬川沿線地区（その1）における防災上の課題（洪水浸水深L2）

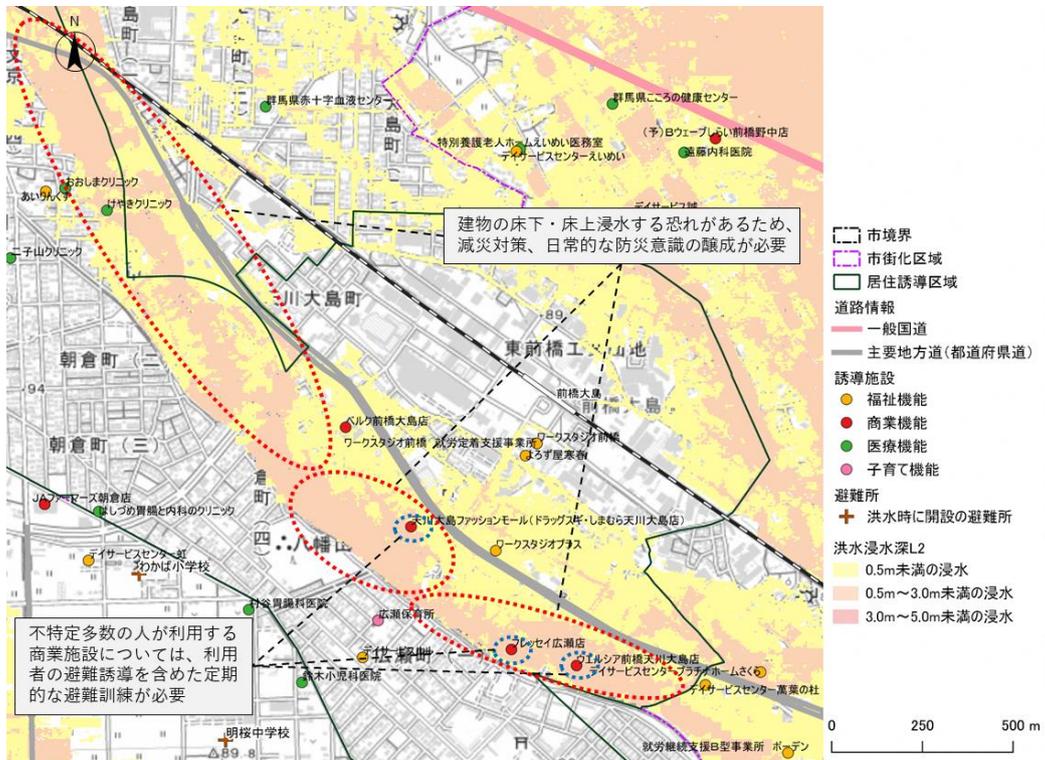


図 3-13 広瀬川沿線地区（その2）における防災上の課題（洪水浸水深L2）

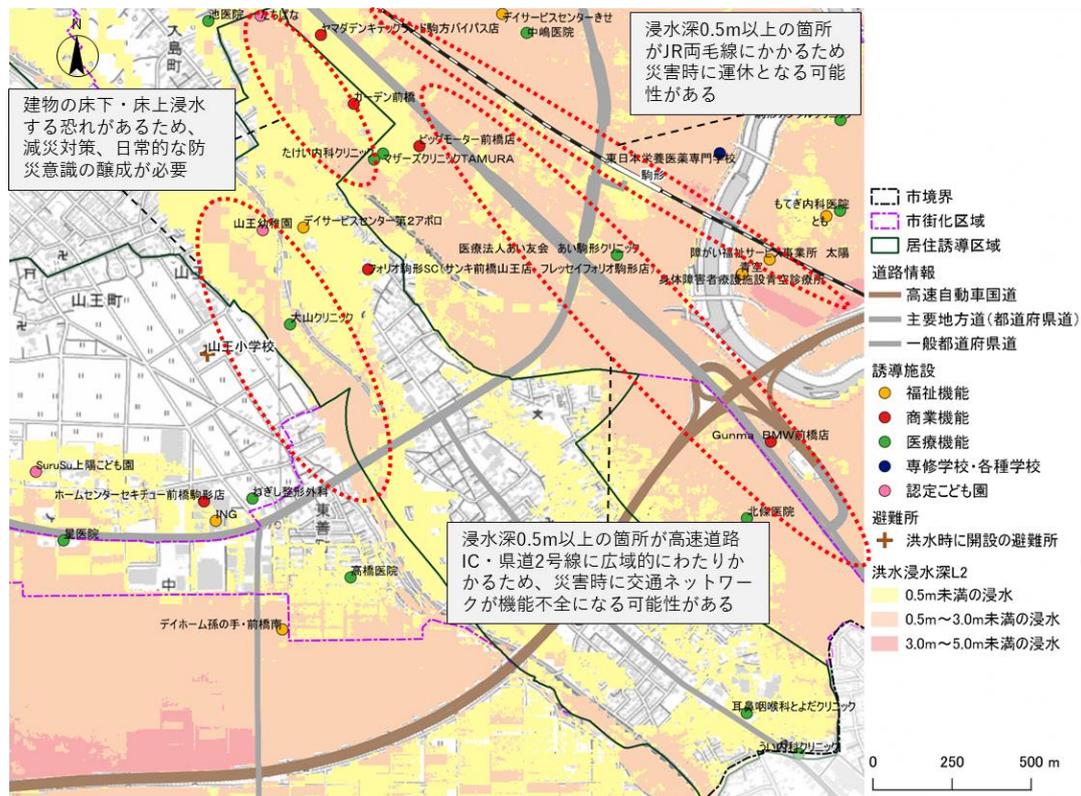


図 3-14 広瀬川沿線地区（その3）における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

⑤ 滝川沿線地区における防災・減災上の課題図

滝川沿線地区において防災指針を検討する上での課題は以下のとおりである。

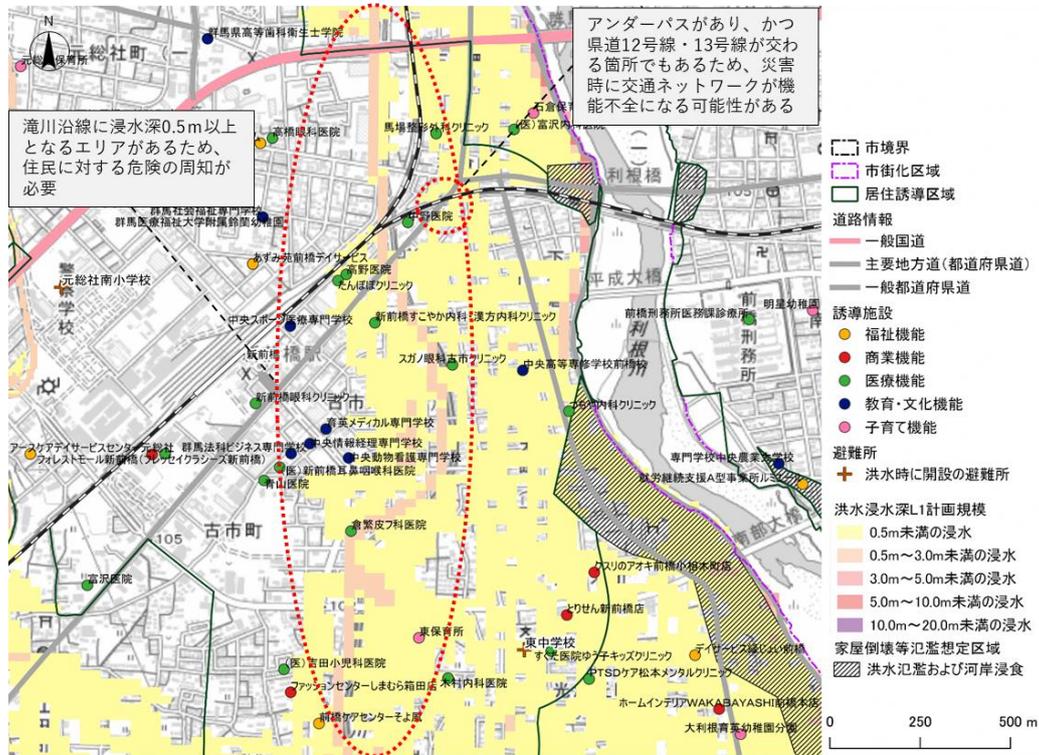


図 3-15 滝川沿線地区（その1）における防災上の課題（洪水浸水深 L1）

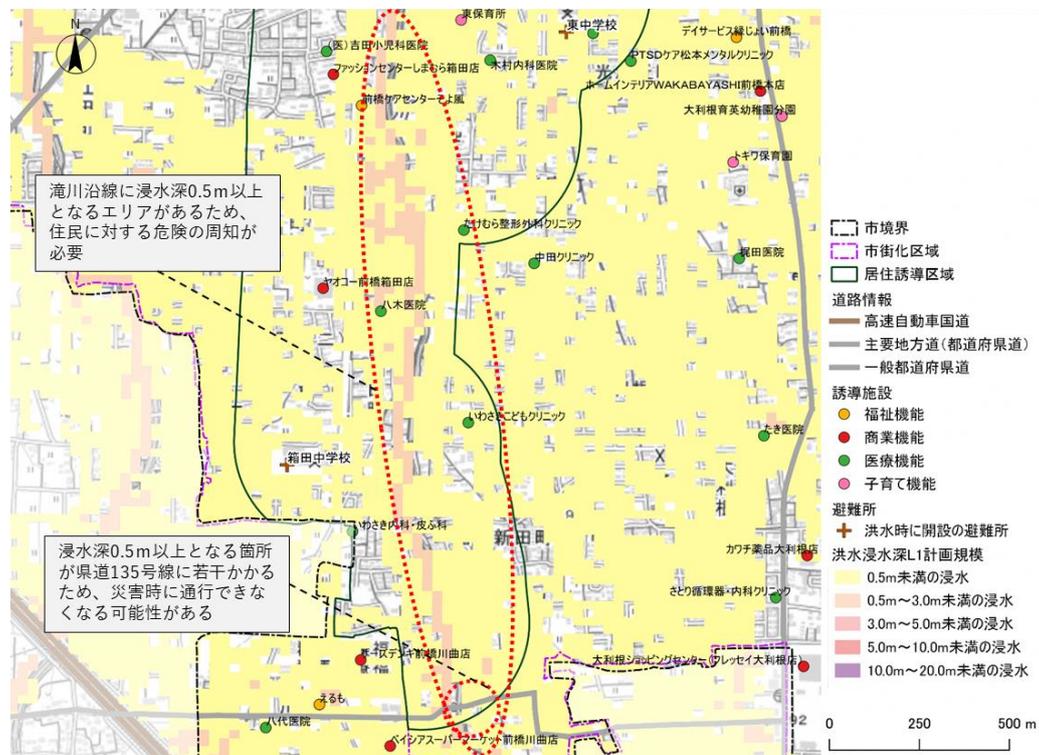


図 3-16 滝川沿線地区（その2）における防災上の課題（洪水浸水深 L1）

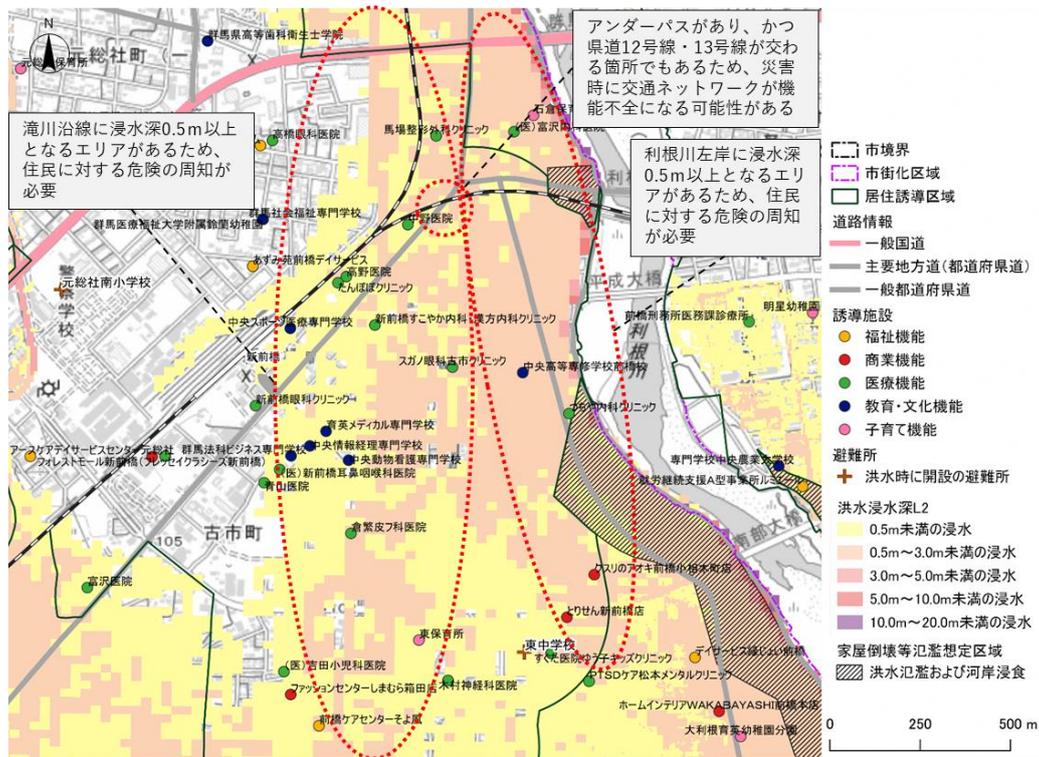


図 3-17 滝川沿線地区（その 1）における防災上の課題（洪水浸水深 L2）

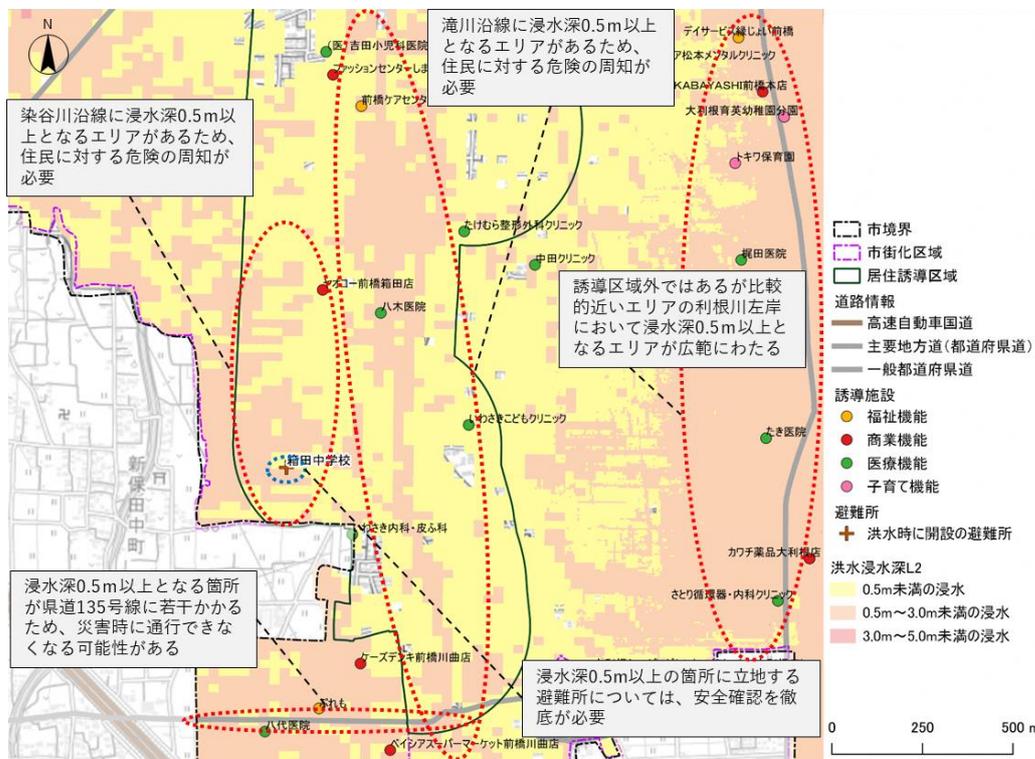


図 3-18 滝川沿線地区（その 2）における防災上の課題（洪水浸水深 L2）